

□ 要請番号 (JL13923B13)

募集終了

3

3人までの人に
健康と福祉を

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
サモア	H131 栄養士	20~45 歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

財務省

2) 配属機関名 (日本語)

サモア国立腎臓センター

3) 任地 (ウポル島アピア) JICA事務所の所在地 (ウポル島アピア)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バス+徒歩 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は2005年に設立された国立機関で、腎臓病患者に対する透析サービスや診療、予防啓発活動を行っている。首都の他に、サバイイ島にも拠点があり、合計の透析装置は約30台。年間平均新規患者数は15名で、現在、透析治療に通う患者は約100名となっている。予防部門においては、学校巡回による教育プログラムも行っている。年間予算は、約3,000万円の規模。海外からの援助は、ニュージーランドから専門医がセンターを訪れ、治療を支援している実績がある。配属先のホームページは[こちら](#)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

近年、サモアでは、非感染性疾患(NCDs)、生活習慣病が深刻な問題にあっており、食生活の改善などの重要性は高まっているが、現場の栄養士不足などの問題があり、食生活や栄養面の指導は十分に行えていない。2017年から2019年まで公衆衛生隊員1名が活動した。主にNCDs患者に対する栄養・食事面の指導や、血液検査結果、食事アドバイスカードを作成し、患者に配布する取り組みを行ったが、NCDs対策には時間をかけて継続した取り組みが必要であることから、隊員要請に至っている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 透析患者、NCDs患者を含む、外来患者一人ひとりに対して、食事や栄養面のアドバイスを実施する。
- 学校訪問プログラム等の機会を通じて、生徒、地域住民に対する食事・栄養面からのNCDs予防啓発活動を行う。
- 同僚と協力して、上記活動に効果的な各種啓発用教材の作成や、既存の資料を必要に応じて改訂を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プロジェクター

4) 配属先同僚及び活動対象者

General Manager (60歳代 男性)

CEO (30歳代 女性)

医師1名 (50歳代 男性)

看護師約20名(20-50歳代 女性)
活動対象者:看護師、透析患者、NCDs外来患者、学校の教員及び生徒

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(栄養士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：同僚への技術指導
が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25~35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

生活使用言語であるサモア語については、現地訓練期間中に学習する。